平成28年 佐鳴湖五月レガッタ大会参加チーム募集
（しずおかスポーツフェスティバル西部大会）

新緑のなか、湖面のさわやかな風を満喫できる佐鳴湖で、オールを思い切り引いて、ボート競技の楽しさを通して多くの仲間と交流しませんか。今回で５７回目となる伝統ある大会に参加し、楽しい一日を過ごしましょう。

１　日　時　　５月８日（日）午前７時４５分～　（競技開始　午前８：２０～）
※　天候不順の場合は、エルゴ大会に変更して行います。

２　場　所　　佐鳴湖漕艇場
（浜松市入野町佐鳴湖公園内　TEL４４９－２７７０）

３　主　催　　浜松ボートクラブ佐鳴会

４　種　目　　ボート（オデッセイ）　①男子の部、②女子の部、③混合の部、④スカル（両手漕ぎ）の部

５　募　集　　各部合わせて４０チーム程度

６　編　成　　１チームは５人（漕ぎ手４人、コックス１人）で編成する。
※　混合の部は、漕ぎ手を女子２人以上とします。
※　原則コックス（舵）の補助は乗りません。補助が必要な場合は申込用紙に記載してください。なお補助が乗ることにより乗員数が増えるため、ハンディとなる場合があります。（天候によっては全艇に補助員が乗る場合があります。）

７　参加料　　１チーム５０００円（参加費及び保険料）
※　お支払いはすべて銀行振り込みでお願いします。（手数料込みで結構です。）

【振込先】
浜松信用金庫　湖東支店　普通　　０１３４３０３
浜松ボートクラブ佐鳴会　事務局代表　鈴木政晴
連絡先　浜松市西区湖東町１４８４－２６５　　TEL/FAX（053）486-2422

※「振込依頼人」には申し込み用紙にご記入いただいたチームの代表者様の氏名等をご記入ください。

８　申込日　　３月22日（火）～４月１７日（日）まで。
ただし、４０チームで締め切らせていただきます。

９　申込先　　申込用紙に記入の上、メールまたはＦＡＸでお願いします。
メール：satsuki@hamamatsubc.com　　FAX：053-486-2422（鈴木）
※　なるべくメールでお申し込み下さい。

９　その他

- 申込書と参加料振込をもって申し込みが完了したものとします。
- 申込以降の連絡事項、組み合わせなどの発表は浜松ボートクラブ佐鳴会ホームページに掲載します。http://satsuki.hamamatsubc.com
- 当日は駐車場が大変混雑します。なるべく乗り合わせてお越しください。
- 当日のけがは医師が応急手当てを行いますが、持病による疾患、飲酒による事故などには責任を負いません。事前の健康管理は各団体でよろしくお願いします。
- 公式練習日は設けませんので、事前に佐鳴湖漕艇場にて練習を希望する団体は直接佐湖漕艇場へお問い合わせください。別途借艇料が必要となり、大会当日のスポーツ障害保険の対象外となりますのでご承知おきください。（詳細は別紙参照）

【種目「④スカルの部」について】

ボートは本来、一人で左右2本のオールを同時に漕いで進むものです。公園の「貸船ボート」を思い浮かべれば想像しやすいでしょう。このような種目を「スカル」と呼びます。佐鳴湖のボートは、片側漕ぎ、両手漕ぎの両方が漕げるタイプです。写真のように、１～２回練習すれば、小学生でも漕ぐことができるようになります。現在、競技者が行う大会では、左右対称の筋力をつけるため、中高校生はこの「スカル」の種目しかありません。この機会にぜひ「スカルの部」に挑戦してみませんか。写真のように両手が重なるときは左の拳が上になるように重ねて漕ぐとスムーズに漕ぐことができます。

【練習時のオデッセイの貸し出しについて】

平成２３年４月より、オデッセイ艇の貸出時には「救助艇の伴走」が必要となりました。**本大会の練習に際しては**以下のような「救助艇ボランティアサポート」を行いますので、趣旨をご理解いただき練習してください。オデッセイ艇を借りるためのボランティアであり、指導・コーチを行う練習ではないことをご理解ください。

1. オデッセイ艇の貸出サポートは土日、祝日の午前中に限ります。原則９：００～１２：００の間とします。各団体で船舶免許をお持ちの方がいて、平日練習を行いたいという場合は別途ご相談ください。（メールで相談内容を送ってください。）
2. 希望される日時によっては貸出できない日もあります。（艇の数、湖面コース整備など）
3. 希望される団体の方は、水曜日１７：００までに漕艇場へ申し込みをしてください。
   その際、練習希望時間と確実に連絡が取れるメールまたはＦＡＸ番号をお知らせください。
4. ボランティアスタッフが対応できるか調整した上で、金曜午前中までにメールまたはＦＡＸで連絡します。連絡された内容に従ってください。
5. 当日は時間前に事務所で所定の手続き（貸出簿に記入、借艇料（１時間￥２５０）の支払い）を済ませ各団体で艇を出して練習してください。救助艇はすでに湖面に出ているか、その時間に合わせて湖面に出るように準備しています。
6. 練習は航行ルールに則って行ってください。航行ルールについては漕艇場の看板をご覧ください。
7. 練習終了後は各団体で艇の片づけを行い、事務所に一声かけてから終了してください。
8. 貴重品の管理、駐車場での事故などに気を付けてください。
9. 雨天、所用による練習中止の場合、分かった時点で漕艇場へ連絡をお願いします。ボランティアスタッフは連絡がなければ準備していますので、必ず連絡をお願いします。
10. 練習日における事故、けが、艇の破損などのトラブルに関しては一切の責任を負いませんので気を付けて練習してください。